

令和2年度 第1回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	令和2年度 第1回安曇野市図書館協議会
2	日 時	令和2年7月29日 午後1時30分から午後3時30分まで
3	会 場	安曇野市穂高交流学習センター 多目的交流ホール
4	出席者	濱野委員、初谷委員、田守委員、古川委員、樋口委員、小田委員、鈴木(研)委員、小笠原委員、福田委員、鈴木(健)委員、黒澤委員
5	市側出席者	平林教育部長、山下文化課長、遠藤豊科図書館長、金子三郷図書館長、伊藤堀金図書館長、青木明科図書館長、高嶋中央図書館長、奈良澤係長、松下主任
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	2人
8	会議概要作成年月日	令和2年8月7日

○会議の概要

- 1 開会 (山下課長)
- 2 あいさつ (平林教育部長)
- 3 委嘱書交付
- 4 自己紹介
- 5 図書館協議会の職務について
- 6 会長・副会長の選出
- 7 協議事項
 - (1) 令和元年度安曇野市図書館事業報告
 - (2) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に関する対応について
 - (3) 第70回長野県図書館大会について
 - (4) その他
- 8 その他
- 9 閉会 (山下課長)

7 協議事項概要

- (1) 令和元年度 安曇野市図書館事業報告について

議 長 協議事項1 令和元年度安曇野市図書館事業報告を事務局よりお願いしたい。

事務局より説明。

議 長 事務局より令和元年度の事業報告について説明いただいた。関連があるので続いて「2 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に関する対応」について説明いただきたい。

事務局より説明。

議長 事業報告及びコロナウイルス感染拡大防止に対する取り組みの2点について、ご意見やご質問があればお願いしたい。

委員 2点お願いしたい。1点目は、全館事業の中でデータベースの活用とあるが、これは職員が使うのか利用者が使うのか。もう1点、穂高商業高校との連携事業とあるが、参加している先生・生徒は部活動なのか。良い事業だと思うので、継続してほしいが。

事務局 データベースの方からお答えする。利用者向けには商用データベースがあり、職員用にはレファレンスで利用するものがある。双方で利用している状況がある。

穂高商業高校との連携講座については、市の包括連携事業で行っている。図書館内にあるヤングアダルトコーナーを、選書やディスプレイで充実してもらっている。今年も継続する予定でいたがコロナ禍のため、8月くらいから再開する予定でいる。

委員 今回のメインの議題について確認したいが、令和2年度の事業計画については3月に議題としているので、今回は前年度の事業について議論するということでよろしいか。

事務局 10月の予算取り前に意見をいただき、それを反映させた事業計画を3月に説明し、現在事業を進めているところである。ただし、コロナ禍で計画どおりには事業が進んでいないので、ご理解いただきたい。新任の委員には、事業計画を配布しているのでご確認いただきたい。

資料の4について、ここで説明させていただいてもよろしいか。

議長 安曇野市中央図書館新型コロナウイルス感染症対策についてという資料でよろしいか。どうぞ。

事務局より説明

議長 これについていかがか。

委員 みなさん非常に図書館を活用されている。一つの貴重なデータとしてまとめていただきありがたい。できれば近隣の図書館の状況も聞いてほしい。このコロナ対策は、次々と手段を下されているが、どんな仕組みで実行に移していったのか教えていただきたい。

事務局 細かいことを決めたのは図書館係であるが、館長方の意見を聞き、周りの図書館の動向も視野に入れながら対策をした。話は飛ぶが、コロナ禍の対策として、現在図書館での滞在時間を短くし、家で本を読んでいただくことを目的に、好きなテーマの本を短時間で借りていただく本のサマーギフトを実施している。これは、館長会及び実務者の会議である連絡会で練った事業である。

委員 資料の配布については、前送されているものに対し、変更後の資料という形ではなくて、変更点などを抜粋したものをもらえれば、分かりやすいし省力化につながると思う。

この資料の中で、3つほどお願いや質問があるが、続けてよろしいか。

資料1の令和元年度の事業報告で、読書通帳に関連して情報を得たい。本を買うと必ず出版社へコメントを書いて出すカードがあるが、これを有効利用するために本に挟んでおけばどうか。利用者からのコメントが集まれば、その本に関するユーザーからの反応などをもとに、出版社との情報交換ができたり、出版社としても地域の情報収集になるのではないかと。

長くなるので次回の回答でも良いが、資料の2ページにデータベースの活用促進とあるが、市内の美術館や博物館などのデータを一元化して利用できれば、図書館の利用価値も更に上がるのではないかと。

議 長 会議資料の配布について工夫ができないか、書籍に付いてくる出版カードのこと、データベースの活用方法、その3点でよろしいか。では、事務局でお願いしたい。

事務局 資料の件については善処させていただく。出版カードの件については、紛失ということを見ると、本に挟み込むのは難しい。考えさせていただく。データベースの件については、例えばアーカイブ化された情報サイトを集めて、提供するという事は可能かと思われる。また考えさせていただく。

委 員 図書館のホームページについて、蔵書検索のところ、図書館のアピールにもなると思うので、新着図書の紹介をしてはどうか。また、各図書館で開催している講座を中央図書館で開催し、誰でも参加しやすいような形ができないか。

事務局 ホームページについては、項目ごとになるが、3ヶ月分の新着図書を紹介しているコーナーがある。各館の自主事業については、受講者の平等性を考慮し各地域で実施している。ご意見は参考にさせていただく。

議 長 この件については、これで終了させていただく。次に、第70回長野県図書館大会についてということで、事務局よりお願いしたい。

(3) 第70回長野県図書館大会について

事務局より説明。

議 長 この件について、質問やご意見があればお願いしたい。

8月4日に実行委員会が開かれるということ、規模を縮小しリモートで行うということ、よろしいか。この件については終了させていただく。

協議事項の最後、4のその他、事務局から何かありますか。

(4) その他

事務局、特に無し。

議 長 それでは、「8 その他」に移らせていただく。委員から、全体を通してのご意見やご提案

があればお願いしたい。

8 その他

委員 今年度から会計年度任用職員制度が実施されるということで、雇用に改善がみられるかどうかということをお尋ねしたい。フルタイム職員とパートタイム職員の任用条件、また、手当は改善されているか。2番として、安曇野市内の図書館員で、パートタイム職員はどのくらいか。3番として、再任用されなかった職員はいるか、また、次年度の再任は可能か、継続した再任用は何年くらい可能なのか。5番については、図書館は文化的な拠点であり、非常に重要な仕事をしているので、常勤雇用でなければならないと考えているが、時間が無いので4番までについて回答をお願いしたい。

事務局 この前の会議からご質問をいただいている内容かと思う。1番については、図書館職員はパートタイム任用職員となっている。諸手当については、今までも支給されている。パートタイムは、7時間30分、フルタイムは、7時間45分の勤務時間となっている。月給制になっており、通勤手当もある。賞与は、夏冬合わせて月給の2.6月分となっている。2番については、全員パートタイム任用職員である。3番は、再任用されなかったものはいない。継続再任用の年数については、会計年度任用職員は1年雇用となっており、面接等で就業状況を確認しながら雇用の更新をしていくということで、雇い止めは無いということをご理解いただきたい。

委員 雇い止めが無いということで安心した。次に、職員の異動で、明科図書館は新任1年目の職員1名を残し、全員入れ替わってしまったが、これについては何か理由があるか。できれば安定した在勤が必要かと思われる。

事務局 人事案件なので詳しい説明はできないが、職員の固定化による支障というものもあり、全館相対的に考えさせていただき人事異動を行っているので、ご理解いただきたい。

議長 次に最後、安曇野市図書館協議会への提案ということで、委員より説明をお願いしたい。

委員 2枚もののプリントを提出させていただいた。図書館の目的は、国民の文化と教養の発展に寄与するというものが基本にあるが、その評価の指標は難しいものになるので、図書館としては、貸出数とか登録者数、レファレンス数などを設定している。この指標について、松本市・塩尻市・安曇野市の状況を年次推移のグラフで見ると、同じような傾向で推移していることが分かる。もう一つは、利用者の読書の時間というものになるが、小中高校生の1ヶ月の平均読書冊数では、10年前と比べてそんなに変わらずにきているが、大学生の読書時間を見ると、1冊も読まないという人が半分くらいいることになっている。そして、全体を見ると、読書活動を推進しているのに、年齢と共に読書時間が減ってくるということが明らかである。この辺が読書時間を増やすうえで大きな課

題かと思われる。このような中で、できるだけ短期間で、お金をかけずに図書館を良くすることができないかということを考えればどうかという提案である。

検討案として三つ用意した。一つは、図書館フェスタの在り方、図書館フェスタの開催目的も含めて、これからどうしていくのか見直せばどうか。2番目が、図書館フェスタの時のリサイクル本の配布について、多くの人を図書館に呼ぶ機会となっているので、コロナ対策も含めて工夫をすればどうか。三つ目としては、広報活動、図書館にとって広報活動は重要なことだと思うので、お金をかけないようにして何とかならないか考えてみてはどうか。広報誌のアトラクティブ化と配布、あとメディアの活用、SNS、ツイッターの積極的な活用、市役所とみらいにある大型ディスプレイの利用、レファレンスの広報など少しでも図書館を良くすることができないか。そんなことを議論する場に図書館協議会がなればいいが、無理ならば別にそういう場を設けるか事務局へ書類で持っていか、そうしたものを皆さんで考え実行できる場ができればいいということで提案した。

事務局 いろいろと考えていかなければいけないときに来ている。今年度の図書館フェスタは、コロナ禍のため開催を断念した。人気のあるリサイクル本のコーナーは、3密のこともあるので、1月に各館で開催することとした。来年以降の開催については、次回、10月に開催を予定している図書館協議会で、ご意見をいただきたい。広報活動については、時間が無い中ではあるが、意見があればお出しいただきたい。小規模で集まってということはなかなか難しいと思われるが、何らかの形でご意見をいただけるように考えていきたい。

議長 広報活動については、事務局でいろいろな方法を考えて報告をいただくということでよろしいか。1項目と2項目については、委員への宿題ということでよろしいか。次回、意見を持ち寄っていただきたい。

委員 要望について幾つか述べさせていただく。図書館基本計画では、計画推進の中に図書館協議会で協議の上事業計画を策定し、公表すると共に運営状況について、点検・評価を毎年実施するとあり、この資料を作成しているが、これを一般の人に公開し分かってもらうには工夫が必要と感じる。まずホームページには、いろいろなことをちりばめるのではなく、図書館年報と図書館ライブラリの二本柱が重要ではないかと思う。そして、指標の達成状況を説明するためには、数値をグラフ化するなど統計的にした方が説得力がある。それから年報の中に、新聞と雑誌の一覧情報を掲載していただきたい。それから1年間のイベント情報。次に図書館だよりで、この月全館でどういうことをやろうとしているのかという、イベント案内をしてもらいたい。それから次、読書通帳では不十分なので、ホームページに個人の貸出履歴が見られる機能を付けてほしい。ホームページで本を検索したときに内容紹介があるが、内容紹介とは別に注記というのがあり全く同じことが書かれているので削除願いたい。

最後に、資料に対して委員が意見とコメントするだけでは偏ってしまうので、委員からの提案・要望を積極的にするためにプレゼンの場を与えてほしい。

議 長 多岐にわたりどれも必要事項だとは思いますが、聞いたものと相違があってはいけないので、委員より文書化したものを事務局に提出していただき、次回の会議で事務局より報告いただくということによろしいか。

議 長 本日予定した内容については全て終了したので、協議事項について閉じさせていただく。

以上